



ドーピングのないクリーンな東京五輪を目指して

日本薬剤師連盟 副会長 本田あきこ

平成30年もあっという間に1か月が過ぎてしまいました。全国訪問の旅の第2弾である支部訪問を1月下旬からスタートしました。1月から3月にかけて東京都と関東ブロックの各県を訪問させていただく予定です。支部訪問の合間には各地で開催される集会にお招きいただき、オレンジ色を身につけられた皆様から貴重なお話をお聞きしており、これからの活動の糧にさせていただいております。これまでお世話になりました皆様に改めましてお礼を申し上げます。

さて、私は小・中学校時代にバドミントン部に所属していたことからスポーツに関心があり、JADAのスポーツファーマシストの認定を受けました。リオデジャネイロの次のオリンピック開催地が東京に決まった理由の一つが、日本がドーピングにクリーンな国であることだったと聞いています。オリンピック・パラリンピックという国を挙げての華やかな祭典が終了すると、ドーピングが発覚し記録が抹消され、メダルがはく奪されるという悲しいニュースが流れることがあります。しかし、これまでのオリンピック・パラリンピックにおいて日本選手によるドーピング問題はほとんど聞いたことがありませんでした。

ところが新年早々、カヌー競技において禁止薬物混入事件が発覚したとの報道がなされ、唖然としました。昨年9月のカヌー・スプリント日本選手権で、ライバル選手の飲料に禁止薬物であるステロイドを混入させていたということでした。1位の選手はレース後のドーピング検査で陽性となり、成績が取り消されたそうです。2020年の東京オリンピックの代表になりたいがための行為だったとのことで、本当に悲しくなる事件でした。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックを視野に、今通常国会にドーピング防止に関する法案が議員提案により上程されるとのことです。また、選手村の診療所で活動可能なスポーツファーマシストの調査が行われたと聞いております。スポーツファーマシストの活躍に期待したいと思います。

- 1 Facebook ページ「本田あきこの部屋」を公開しました。

右のQRコードから閲覧してください →



- 2 本田あきこのホームページを開設しました。

<https://www.honda-akiko.jp/>

- 3 本田あきこメールマガジンを開始しました。

右のQRコードから登録をお願いいたします →

